

ケニア国別研修が終わりました。

鳴門教育大学では、11月12日から12月7日まで4週間にわたってJICA国別研修「ケニア初等理科授業改善」を実施しました。本研修は今年で3年目を数えますが、オブザーバー3名（マラウィ・インドネシア）、ファシリテーター2名（南アフリカ・アメリカ）を加えると参加者は5カ国27名にのぼり、これまでで最も大所帯の研修となりました。

研修は、授業研究の手法による理科授業の改善を主眼とするもので、附属小学校、石井中学校での授業参観をはじめ、授業分析、授業案作成、模擬授業、授業検討会という実践的な内容を含む密度の濃い研修でした。



インセプション・レポート発表の様子



インセプション・レポートで指摘された
問題点の分析



ヘリット・ストルス先生
プレトリア大学・数学教育



ジョン・ローガン先生
クワズルナタール大学・理科教育



ラファエル・アガブ氏（中）
マラウイ教育省局長



オブザーバーとして参加した
ノヴィ先生・ピピット先生
（インドネシア・バンドン）



協力して分数の授業案を作成中



授業後、全員で授業検討会

研修の合間を縫って、本学茶道同好会によるお茶会、日本語教育分野の学生による日本語レッスン、本学に在籍する現職教員との意見交換会、留学生による歓送迎会など、さまざまな活動を通じて本学学生と交流を深めました。



お菓子をどうぞ。



一服お点前を差し上げます。



足が....



初めての抹茶のお味は？



和敬清寂、お茶の心で国際交流



レッスンのおかげで日本語で自己紹介ができるように。



研修補助の学生とも仲良しに。



教職大学院の現職教員の皆さんと交流



研修のこと、教職のこと、気になっていたことを現職教員の方から直接聞くことができました。



留学生主催の歓送迎会の一コマ



一緒に食べて、飲んで、語り、踊る。

よく学び、よく交流した国別研修でした。ご協力くださった皆様に心から感謝申し上げます。

文責 小野由美子